

令和7年度学校訪問実績(12月～3月)

No.	実施日	聴取テーマ	課室名	聴取対象	参加状況
11	12月16日	奈良県の観光課題から考える持続可能な観光	観光力創造課	奈良県立大学	13人
12	2月19日	「共生社会の実現に向けて」及び「奈良県障害者総合支援センターの今後のあり方について」	障害福祉課	奈良教育大学	4人

実施日：令和7年12月16日（火）

テーマ：奈良県の観光課題から考える持続可能な観光（観光力創造課）

対象：奈良県立大学 地域マーケティング講義13人

質問

奈良県の観光課題である「安い（観光消費額が少ない）」、「浅い（滞在期間が短い）」、「狭い（奈良公園周辺に集中）」に対して、どのような打ち手が考えられるか。



学生からの意見（抜粋）

- ・明日香村の農家民泊に泊まったことがあるが、とてもよい経験だった。このような体験型コンテンツを造ってみてはどうか。
- ・ゲストハウスでバイトしていたときの経験で、宿泊していた外国人が東大寺に行く道中にたまたま初宮神社の催事に遭遇し、東大寺に行かず満足して帰ってきた。新しい何かではなく、今ある当たり前のものの魅力を改めて伝えていってはどうか。
- ・早朝の奈良公園の雰囲気すごくよかったと知り合った外国人旅行者が言っていたので、その魅力をもっと打ち出せば泊まってもらえるのではないか。
- ・中南部に行くには交通手段に車がないとつらいが、これを逆転の発想で車だからここにも行けるというプロモーションをしてはどうか。
- ・地域住民の不便は域外の人にとっては非日常という魅力になり得る。

実施日：令和8年2月19日（木）

テーマ：「共生社会の実現に向けて」及び「奈良県障害者総合支援センターの今後のあり方について」（障害福祉課）

対 象：奈良教育大学 特別支援教育を学ぶ学生4人



質問

皆さんは「共生社会」という言葉に、どのようなイメージを持っていますか。



学生からの意見（抜粋）

- ・みんなが住みよい感覚がある。
- ・困りごとは平等に助け合っていく。
- ・色々な人が当たり前前に地域で生きている。

社会のみんながどのような行動をすれば「共生社会」の実現に繋がると感じるか話し合ってください。



- ・まずは何を困っているのか、解決策は何かを考える。
- ・無関心、遠慮の気持ちは抑え、関わってみる意思、勇気を持つ。
- ・物事を自分事化して、自分の行動を変えようとする意識をもつ。

「共生社会」の実現に向けて奈良県障害者総合支援センターで取り組む必要があると思うことを話し合ってください。



- ・認知を広げるため、情報発信や説明会を行う。
- ・地域に開かれた施設であること。地域での運動会などのイベント、交流会などを実施する。
- ・親しみをもち、身近に感じられる愛称をつける。
- ・将来の姿をイメージができるように、教育から就労、地域での生活までを一貫して支援する場所になること。